

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

## 平成21年度学校支援地域本部事業 学校職員研修会・成果発表会

- 4.5
- 2 トピックス 公民館事業も対象、事業仕分けが始まりました
- 3 視点 「負の財産」から学ぶもの 創作演劇で歴史をつなぐ
- 3 ひろば 互いに力を合わせ、みんなで島の宝を育む風土
- 6 実践記録シリーズ ガイドボランティア養成講座の取組
- 7 サークル交流 下手でもいい 楽しく描きましょう (三条市) / 手を使い、歩く、人と話すことで、脳は元気になる (阿賀町)
- 7 素顔拝見 小池 和美さん (上越市) / 高橋 隆明さん (津南町)



『声高らかに富久寿賛歌』

表紙解説

小千谷市の高齢者学級「富久寿大学」は、今年で開講 40 周年を迎え、記念式典・講演を開催しました。

# 公民館事業も対象、事業仕分けが始まりました

県公連副会長  
新発田市中央公民館長 伊藤 英策



れ、時には住民の声に冷や汗しながら合併を乗り越えてきたように思います。

平成の大合併で県内の市町村数は百十二から三十に大幅に減りました。この合併の大きな目的に財政の健全化がありました。そのことから、

市町村では財政支出の抑制と職員の削減が行われ、わたしたち公民館においてもその影響は非常に大きかったと思います。

今振り返って見ますと、職員が減らされる中で事業の統廃合や制度調整、施設使用料の見直しなどに追いまくら

新発田市では、平成十五年

に豊浦町と平成十七年に紫雲寺町、加治川村と合併し、間もなく五年が経ちますが、いつまでも合併後に調整しますとか合併の影響で、というようなことはもう言えない時期を迎えています。

このような社会情勢の中、下越地区公民館連絡協議会と下越地区社会教育委員連絡協議会では、毎年それぞれで開催していた下越地区公民館関係役員等研修会と、下越地区社会教育研究会を平成二十二年度から合同で開催することに決めました。

そして、それぞれの上部団体の県公連、県社連いずれかの主催大会が下越地区内で開催される年度は除くとされました。

これは市町村合併が進む中で、行政のスリム化が一層求められ、公民館運営審議会委員と社会教育委員を兼ねる市町村が増えてきたことなどから、両協議会で平成十九年度から検討を進めてきたものです。

さて、昨年話題となった国の事業仕分けであります。この仕分け作業をマスコミが大きく取り上げたことでその意味するところや必要性、問題点等が明らかにされました。折りしも、当市も滋賀県

大津市を参考に、事業仕分けを進めていましたので少し紹介させていただきます。

主な狙いとしては、極めて厳しい財政状況の中、予算の圧縮が必須なのに依然として抜本的な見直し等が行われていない事務事業が少なからず存在していること、そして職員の定員適正化の推進のための事務事業の改革・改善、廃止・統合・委託等により事務の効率化を進めることでもあります。

仕分けの方法には、担当課が行う自己仕分けと市民が行う第三者仕分けがあります。特に後者は市民が仕分け人となるので、市民視点での市民サービスの質の向上に直接結

びつき、行政の市民満足経営につながるものといえます。仕分け作業は、すべての事務事業を対象に、①市で行うべき事業なのか ②類似の事業はないのか ③市が行うことがもつとも効果的か ④第三者仕分けで意見を聞きたい事務事業（市民意見を聞きたい、不要と思っても諸事情でやめられない事業）の四つの視点で進められます。その判定結果を受けて更に検討を加え、次年度予算編成に反映させていくというものです。

あれもこれもと住民ニーズに応える時代は終わり、できないときは、できない理由をしっかりと住民に説明をして納得してもらうことが必要な時代になっていると思います。

今後公民館事業を、限られた財源と職員の中で取り組んでいくには、このような事業仕分けの視点は欠かせないと思います。

# 視点

## 「負の財産」から学ぶもの 創作演劇で歴史をつなぐ



上越市社会教育委員・公民館運営審議会委員 石井 陽子

昨年、糸魚川市が世界ジオパークに認定され話題を呼びましたが、私の住む隣りの上越市名立でも江戸時代の大地震で崩れ落ちた断崖絶壁が、二百五十年以上の時を経た今も、その姿をむき出しにしています。その裾野に二つの供養塔が建てられています。そのもう一つは、戦後間もない頃、海岸に流れついた機雷の爆発で犠牲となった人達の供養塔です。他にもオウム真理教の迫害に倒れた坂本弁護士が遺体で発見されたのもここ名立です。

私は仲間とこの歴史を残したいと演劇活動を行っています。大正期に書かれた「名立崩」という脚本との出会いから早十九年になります。

今、地域では、この『負の財産』を生かそうと「平和活動」に取り組み始めました。小さな町からの大きなメッセージです。大げさなことは出来なくても一人一人が謙虚に相手を観ること、そこから何かが変わっていく気がしています。

私達の舞台を観て、何か心に感じ、新たな一歩が生まれ続けてくれたらと願っています。

# H O T N E W S

## 掲 示 板

### 平成21年度県公連 第2回評議員会の開催内容

記

- 日時** 平成22年2月22日(月)  
15時00分～16時30分  
(※13時30分～14時40分まで理事会が開催されるため)
- 会場** 新潟県建設会館  
4階 402号室  
新潟市中央区新光町7-5  
TEL.025-285-7111
- 協議題**
  - 平成22年度基本方針・重点目標・事業計画について
  - 県公連創立60周年記念第61回新潟県公民館大会(新潟市北区)の開催について
  - 当面の問題について
  - その他
- 説明会**  
公民館総合補償制度について  
エコー保険サービス株式会社  
公民館担当 齋藤 忠幸 様

# ひろば

## 互いに力を合わせ、 みんなが島の宝を育む風土

粟島浦村社会教育委員 長谷川 寛

人口約三百六十名の自然豊かな県北の島に、平成二十年四月からお世話になっております。

豊かな自然の恩恵と厳しさを併せもつ島において、島外と同じようにならない部分が色々あります。しかし、そこは昔からの知恵とこののでしょか、互いに力を合わせ乗り越えてきた歴史があります。海が荒れば船は運航できず、物資は届かなくなります。冬場はそれが数日間続くこともあります。そうした中でも冠婚葬祭は行われます。手際良くお出しする料理を役割分担し、ことを成し遂げる風土がそこにはあります。

また、村民に人気のあるスポーツにゲートボールがあります。小学生が参加した時など、高齢者の方々が優しく声をかけ、上手なプレイを称賛してくれたり、待ち時間の時にはいろんな話をしてくれたりしています。



# 支援地域本部事業

## ・成果発表会

事例では、学校に余裕教室を利用したボランティアルームがある。そこが、交流の場となっている。

研修2 事例発表

事例1 標題 「未来を担う“妙高っ子”のために」

発表者 妙高市教育委員会生涯学習課主事

馬場 慎太郎 氏

妙高市学校支援活動コーディネーター

鈴木 裕子 氏

平成13年設立の『子縁人材バンク』を活用して、

学校支援地域本部事業

の取組を始めた。学校

支援地域本部を市民活

動支援センターに設置

して、各学校に支援を

実施した。例えば、文

化・体験活動では妙高

市内全域にボランティアを提供し、

スポーツ活動では、新井地域・妙高高原地域・妙高地域で提供

している。

取組の成果と課題は、次の点である。

【成果】 ①地域の達人から、知恵や技を継承して

もらった(子ども側)

②地域の子どもと活動ができた(地域ボ

ランティア側)

③教職員ではできないことを子どもたち

に指導できた(教職員側)

【課題】 ①ボランティア人材リストの調査・更新

を検討

②学校への事業周知の強化

③地域ボランティアの掘り起こし

④学校独自のボランティア情報の共有

事例2 標題 「大崎小学校 はなさきプラン

学校と地域はパートナー」

発表者 大崎小学校教育コーディネーター

田中 一利 氏

大崎小学校教育コーディネーター

中島 澄江 氏

教育コーディネーターは二人いる。一人が公民

館長、でもう一人は元小学校長である。具体的な

取組としては、以下のことがあげられる。

①「はなさきルーム」の設置…これはボランティ

ア同士や子どもと地域の方との交流の場である。

②ボランティア活動…学習支援・図書ボランティ

ア・生け花ボランティア・読み聞かせ・子ども

安全パトロール



③本物体験…書き初め  
教室・縄ない教室

④地域文化の継承

⑤地域との連携・交流

取組の成果と課題は、

次の点である。

【成果】 ①地域の人たちが学校に関心を寄せるよ

うになった。…学校も地域の行事に積

極的に参加して交流を図っている。

②はなさき交流会を通して、新しい広が

りができた。…クリーン作戦の実施

【課題】 ①はなさきルームの開放、活用が今後ま

すますます重要である。

②広報紙を活用して人材探しをする。

③PTAとの連携が必要ではないか。

研修3 グループワーク(情報交換)

12グループに分かれて、2つの柱(「講義と事

例発表)を聞いての感想と学校支援地域本部に関

する悩みや困っていること)について情報交換を

行った。

「学校のニーズと地域のニーズのギャップをど

うするか」「地域に合った長続きする組織をど

うするか」などの意見が出された。

・発表と全体講評

各グループ1分30秒の発表時間内で2つの柱に

ついて発表した。

全体講評では、学校支援地域本部事業は学校が

主役となって進めること。また、無理をしないで

地域の状況を踏まえながら、画一的ではない地域

の実態に合わせた取組が大事である。

3 おわりに

近年、子どもを取り巻く社会環境が大きく変化

し、家庭や地域の教育力が著しく低下している。

その状況下で今回の研修会は、学校・家庭・地域

の連携を強化するためのシステムづくりに大いに

役立った。

参加者の多くは、研修会後のアンケートで「具

体的な方策・取組がわかった」等の肯定的意見を

記述していた。学校・家庭・地域が子どもの教育

に関して目的を共有しながら、連携を深めていく

ことが地域の教育力の向上につながる。その意味

では、今後も学校支援地域本部事業は重要な取組

事業として位置づけることができる。

# 特集



新潟県公民館月報編集委員  
(新潟県立生涯学習推進センター  
学習振興課)

副参事 内藤 薫

## 1 はじめに

教育基本法の改正により、新たに、学校、家庭、地域住民等の相互の連携協力について規定された(教育基本法第13条) また、改正社会教育法では、教育委員会が行う事務として、第5条第15号(内容)は省略)が追加された。これらを受けて行われる事業がこの学校支援地域本部事業である。学校への支援活動を通して、地域の教育力向上とともに学校教育の充実や地域住民の連帯感形成、そして、子どもたちの大人への信頼感の高まりといった効果を期待する事業である。

## 2 研修会の内容

### (1) 学校職員研修会

- ①日時 7月1日(水) 13:30~17:00
- ②場所 県立生涯学習推進センターホール
- ③内容

研修1 講義  
演題 「学校・地域の協働による地域の教育力の向上を目指して」  
講師 日本ボランティア学習協会常任理事  
桐蔭横浜大学客員教授 木村 清一 氏

学校支援地域本部事業の学校職員向けの研修会は、全国的にも新潟県が初めてである。この事業は、学校が主役である。また、画一的ではなく地域の実態に合わせて行うことが大切である。キーワードは、「みんなと一緒に学校を豊かにしよう」「無理をしない」である。

### 研修2 事例発表

標題 「スクールあいネットさんぽく」について  
発表者 村上市立山北中学校長 小田 智美 氏

### 1年目の取組

最初、事務局は校長と教頭が行った。そして、コーディネーターが決定後も一緒に支援本部事業の活動をした。コーディネーターは、人脈を駆使してボランティアを探す。それには既存の取組を生かし無理をしない。ボランティア募集は、チラシだけでなく集まらない。実際に地域を回ることも大切である。

# 平成21年度 学校 学校職員研修会

## 2年目の取組

学校をより身近なところとして認識してもらおう。また、学校の1年を知ってもらうためにカレンダーを配付した。コーディネーターがいることで学校のニーズを地域に、地域の情報を学校に発信することができる。「地域の子どもは地域のみ人なで育てよう」である。

### 研修3 グループワーク (情報交換)

6グループに分かれて、2つの柱(「講義と事例発表」を聞いての感想及び学校支援地域本部に関する悩みや困っていること)について情報交換を行った。「学校のニーズと地域のニーズのギャップをどうすりあわせか」「地域に合った長続きする組織をどうするか」などの意見が出された。



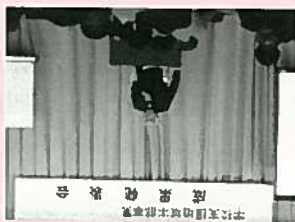
各グループ3分間の発表時間内で2つの柱について発表した。全体講評では、学校支援地域本部事業は学校が主役となって進めること。また、無理をしないことで地域の状況を踏まえながら、画一的ではない実態に合わせた取組が大事である。

### (2) 成果発表会

- ①日時 12月11日(金) 10:20~15:30
- ②場所 長岡市立劇場
- ③内容

研修1 講義  
演題 「学校支援ボランティア (学校応援団)への期待」  
一いま必要な学校と家庭・地域の連携・協力一  
講師 日本ボランティア学習協会常任理事  
桐蔭横浜大学客員教授 木村 清一 氏

○学校支援地域本部事業の成功の鍵は、学校職員の理解である。コーディネーターを校務分掌に位置づけ、自ら学校のボランティアニーズを把握し、リーダーシップを発揮することが重要である。



○学校支援ボランティアの活動を快適に行うためには、例えば「無理をしない」「約束は守る」ことが大切である。○成功している多くの

# 実践記録 シリーズ 143

## ガイドボランティア養成講座の取組

南魚沼市教育委員会社会教育課郷土史編さん係長 細矢 克郎

### ● 事業の目的と経過

郷土史編さん事業の啓発活動の一環として、平成15年度より古文書解読講座の開設や、身近な史跡の理解をしてもらうため、歴史講座の開設等に取り組んできているなか、歴史講座の受講生が中心となって坂戸城跡ガイドボランティアを結成し活動を始めたのがきっかけとなり、平成18年度よりこれまでの講座の他にガイドボランティア養成講座も開設してきた。そのような折、NHK大河ドラマで「天地人」が放映決定になったことで、この講座が一躍脚光を浴びることとなり、昨年度は坂戸城跡だけでなく、樺野沢城跡、浦佐城跡のガイドボランティア養成講座開設要望があり、3史跡の養成講座を開設した。



### ● 事業の概要

講座は、郷土史編集委員の先生方を中心に講師となって頂き、史跡を取り巻く歴史や特徴等テキストによる講義、現地での構造や配置等の講義を中心に全行程5日間の日程で行っている。

—平成20年度ボランティアガイド養成講座実績—

募集期間 6月1日から6月30日までの1カ月間  
 募集方法 募集チラシ（全戸配布）による募集  
 開催時期 平成20年6月29日～8月30日  
 講座日数 坂戸城跡ガイドボランティア養成講座 5回開催 受講者数延べ89名  
 樺野沢城跡ガイドボランティア養成講座 5回開催 受講者数延べ79名  
 浦佐城跡ガイドボランティア養成講座 5回開催 受講者数延べ247名

3回以上出席した受講者に、南魚沼市が結成した「天地人ガイドの会」に登録の可否を照会して、承

諾した受講者をガイドとして登録。

### ● 成果と課題

現在、市の「天地人ガイドの会」に40名が登録し活動をしている。正式に登録はしないが、それぞれの史跡でガイドをやるという受講生もあり、ガイド養成講座については期待以上の成果があったように考える。

「天地人ガイドの会」ガイド実績 H21.12.末現在

期間	ガイド依頼		ガイド回数 (延べ回数)
	件数	人数	
H20/1月～ 12月	274件	4,810人	274回
H21/1月～ 12月	1,561件	40,933人	1,561回



「天地人」の放映も終了しブームも一段落した現在、遺跡等以外のガイドについてもかなりの要望があると思われるため、多様化するガイド要望に対応するガイド養成と、市全体のガイドをコーディネートできるようにすることが緊急の課題である。

また、今後ガイドボランティアとして長く活動するためには

1. ガイドボランティア自身が、ガイドする場所を好きになることが大事。
2. 決して無理をせず、自分のペースで活動。(ガイド活動が負担に感じないように)
3. ガイドを通じて、お客様との触れ合い・交流を自らも楽しむ心を持つこと。

以上をいつも心がけていくことが大事と考える。

津南町の委員が生涯学習班主任 板場麻実 記

タカフキさんに声をかけてください。ワークショップ(ハハ)

津南のうまいお酒とサイコの実験を得意としてお持ちしていますので、津南にお越しの際は、文化センター2階事務所の津南のうまいお酒とサイコの実験を得意としてお持ちしていただける方をお待ちしています。

津南に留まらず、県内国内の生涯学習の世界で羽ばたく可能性のある方をお待ちしています。

読者の皆さまの中には、うちのタカフキさんを存知の方もいらっしゃるのでは？

昨年、積極的に各種研修会にも参加したので、これをお待ちしています。読者の皆さまの中には、うちのタカフキさんを存知の方もいらっしゃるのでは？

常にか高く精進すればその状態なので、これ（これも健康に注意しながら、生涯学習を楽しんでもらいたいと感じている今日この頃です。



津南町教育委員会生涯学習班 主任 高橋 隆明さん

津南町教育委員会生涯学習班 主任 高橋 隆明さん

愛母と愛妻、3人のお子さんと共に、津南を愛し、地元を盛り上げて生きていらっしゃるタカフキさん、生涯学習には最適な人格です。

「飲みニケーション」を大切にす

るあまり、カンニングPと尿酸値が異常

なほど高くなっています。

2年かかっている異動希望がようやく叶い、昨年4月から生涯学習班にやってきた高橋主任(ハハ)。2年かかるといふのは、前の所属課である総務課がなかなか彼を離れてくれなかったから、なのですね。明るくみんなを引っ張ってくれるキヤクから、私たちの新れる見聞。つい「タカフキさん」と呼んでしまい、「高橋主任あー」など一度も呼んだこともなくホントに失礼しております。

愛母と愛妻、3人のお子さんと共に、津南を愛し、地元を盛り上げて生きていらっしゃるタカフキさん、生涯学習には最適な人格です。

# 素顔 拝見

小池さんは、市職員として採用されてからずっと教育委員会社会教育の仕事をしています。小池さんの企画する講座は子どもから高齢者までとても人気があり、いつもたくさんの方が参加しています。

特技は手芸やリニア作りで、自分の作品を学校の文化祭に展示したり、地区の集まりや、他の公民館講座の講師として呼ばれること

上越市立公民館 直江津地区公民館 主任 小池 和美さん

小池さんは、市職員として採用されてからずっと教育委員会社会教育の仕事をしています。小池さんの企画する講座は子どもから高齢者までとても人気があり、いつもたくさんの方が参加しています。

特技は手芸やリニア作りで、自分の作品を学校の文化祭に展示したり、地区の集まりや、他の公民館講座の講師として呼ばれること

上越市立公民館 直江津地区公民館 主任 小池 和美さん

(上越市立公民館高田地区公民館主任 野坂公子 記)



主任 小池 和美さん

小池さんは、市職員として採用されてからずっと教育委員会社会教育の仕事をしています。小池さんの企画する講座は子どもから高齢者までとても人気があり、いつもたくさんの方が参加しています。

特技は手芸やリニア作りで、自分の作品を学校の文化祭に展示したり、地区の集まりや、他の公民館講座の講師として呼ばれること

上越市立公民館 直江津地区公民館 主任 小池 和美さん

(上越市立公民館高田地区公民館主任 野坂公子 記)

## 阿賀町 長谷川 笑子 記

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。



手芸の楽しさを伝える講座の様子



手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

## 今井 久美子 記

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。



手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

手芸の楽しさを伝える講座を企画して、講師として活躍されています。

## 手芸の楽しさを伝える講座

# event information

平成21年度ボランティア活動交流集会  
基調講演・シンポジウム

参加費 **無料**

**ボランティア・地域活動のこれからを考える**  
～連携・協働のウイングの広がり求めて～

日時 平成22年2月18日(休) 午後1時～4時30分  
会場 新潟ユニゾンプラザ  
(新潟市中央区上所2-2-2 4階大会議室)  
定員 150名

### Program

- 13:00 開会
- 13:10 基調講演
- 13:50 シンポジウム
- 16:10 全体会
- 16:30 閉会

### Key-note Speech 基調講演

**丸田秋男先生** (新潟医療福祉大学教授)  
「ボランティア・地域福祉活動のこれからを考える」

### Symposium シンポジウム

コーディネーター **丸田秋男氏**  
シンポジスト **河田珪子氏**  
(うちの実家主宰)  
**金子洋二氏**  
(新潟NPO協会副代表理事)  
**幸村重弥氏**  
(新潟テレビ21チームエコ事業部長)  
**小島良子氏**  
(新潟市立入舟小学校地域教育コーディネーター)  
**高橋桂子氏**  
(新潟市ボランティアセンター所長)

### お問い合わせ

**(福)新潟県社会福祉協議会**

〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3F  
地域福祉課 担当/中原 TEL025-281-5521 FAX:025-281-5529

## 恵贈資料紹介

### 新潟県内の生涯学習取組事例集

### 新潟県生涯学習推進センター

「幅広く活用される事例集」を  
目指して、と所長さんの巻頭に述  
べられていることばですが、正に  
それにふさわしい事例集となつて  
おります。

内容は、1、市町村の事例(1)  
地域学習に関する(2) 子  
育て・青少年教育に関する(3)  
(3) 文化・芸術活動に関するこ  
と(4) ボランティア活動に関  
すること(5) 趣味・教養を高

める活動に関する(6) そ  
の他の特色ある取組 2、県関係  
の事例では、○生涯学習推進課、



○上・中・下越教育事務所、○県  
立生涯学習推進センター、○県立  
青少年研修センター及び県少年自  
然の家等々が紹介されておりま  
す。また最後に、研修会等講師情  
報が、事業別別され、紹介され  
ているのが特徴的です。  
県公民館月報でも、実践事例紹  
介欄で、参考資料として活用させ  
ていただいております。

## 地すべり被害を未然に防止するため取り組んでいます

協議会会員13市町村では国土保全を念頭におき、地すべり地  
域の保全と自然環境の保護及び地域振興のため、農業・農村整  
備事業による地すべり防止対策と関連事業による農業並びに生  
活基盤の改善を主要施策として積極的に取り組んでいます。

**新潟県農地関係地すべり防止事業推進協議会**  
会長(妙高市長) 入村 明(会員13市町村)

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館(新潟県市長会内)  
TEL 025(284)3434 FAX 025(285)3135

## あ と が き

**暖** 冬・少雪の予報が一変  
相を呈して、厳冬・豪雪の様  
設の除雪等大変ご苦労様で  
す。

二月は、理事会、評議員  
会が予定されておりますが、  
二十二年度に向け準備万端  
の態勢で参りたいと思いま  
す。

(鈴木 記)